

第44期中間期株主通信

2015年4月1日～2015年9月30日



DTS

Delivering
Tomorrow's
Solutions



証券コード：9682



代表取締役社長
西田 公一

当期におけるわが国経済は、海外経済の不透明さから生産や輸出の一部に弱さが見られるものの、企業収益の改善や設備投資の増加などにより、緩やかな回復基調で推移いたしました。情報サービス産業においては、企業収益の改善に伴い、金融機関を中心に情報化投資は増加傾向で推移いたしました。

このような状況下、当社グループは、2013年4月に策定した中期経営計画(2013年4月～2016年3月)のもと、「お客様に最高の価値を提供する ベスト・バリュー・パートナー」をビジョンに掲げ、売上高の拡大に向けた提案力の強化、事業基盤の強化とビジネスモデルの変革、およびそれを支えるグループ経営基盤の拡充に注力しております。中期経営計画の最終年度における財務目標である売上高720億円、営業利益56億円は、2015年3月期に1年前倒しで達成いたしました。当期は中期経営計画の最終年度としてさらに高

い目標を掲げ、引き続き長期目標である売上高1,000億円、営業利益100億円の達成に向けて、拡大成長を図ってまいります。

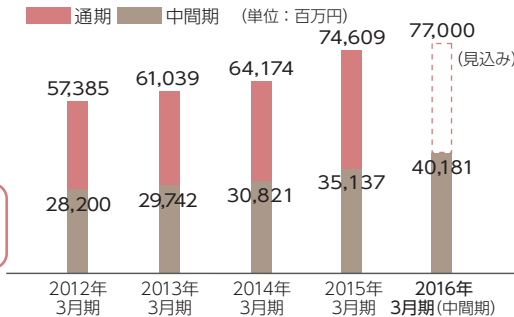
中期経営計画の施策のうち、事業基盤の強化とビジネスモデルの変革については、金融、通信に続く第三の柱の創出に向けて、今後成長が期待できる医療・車載分野を中心に、組込み関連事業の拡大に取り組んでおります。具体的には、2015年4月に当社の組込み関連事業の一部をアートシステム株式会社に承継させることで顧客基盤やノウハウ等の集約を図るとともに、車載分野に強みを持つ横河デジタルコンピュータ株式会社との連携強化を推進しております。また、新規企画型ビジネスの創出にも取り組んでおり、ロボティクス分野やビッグデータ活用分野など、今後のビジネス展開が期待される領域において研究および実証に取り組んでおります。

また、グループ経営基盤の拡充については、各社を取り巻く経営環境に応じてグループシナジーを最大化できるようグループ再編を継続しております。2015年4月に西日本地域のグループ会社である株式会社DTS WESTと株式会社総合システムサービスを合併し、新たな体制による事業拡大に取り組んでまいります。さらに、技術力の強化やグローバルビジネスの推進に向けた高付加価値人材の育成、および経営の効率化を狙いとした本社等の拠点集約に向けた検討を推進いたします。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

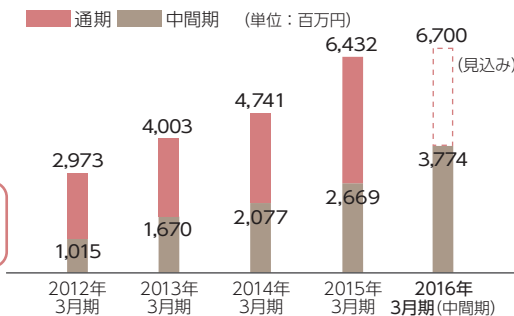
売上高

401億81百万円

前年同期比
14.4%増

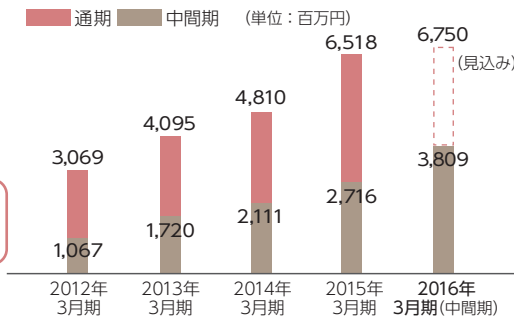
営業利益

37億74百万円

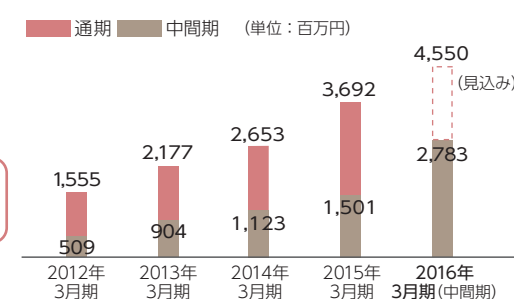
前年同期比
41.4%増

経常利益

38億9百万円

前年同期比
40.2%増親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益

27億83百万円

前年同期比
85.4%増

売上高について

売上高は401億81百万円(前年同期比14.4%増)となりました。売上高は、銀行や生命保険会社向けの開発案件が好調に推移し、ネット系企業向け等の機器販売の減少を補い増加いたしました。

利益について

売上総利益は、74億円(同22.7%増)となりました。売上総利益の増加は、主に売上高の増加やグループ会社の売上総利益率の改善などによるものです。販売費及び一般管理費は、経営基盤の拡充などにより36億25百万円(同7.9%増)となりました。この結果、営業利益37億74百万円(同41.4%増)、経常利益38億9百万円(同40.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、拠点集約に向けた本社などの土地および建物の売却益などにより、27億83百万円(同85.4%増)となりました。

※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当連結会計年度より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	2016年3月期 第2四半期末 (2015年9月30日現在)	2015年3月期 (2015年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	42,867	37,126
固定資産	8,285	14,256
有形固定資産	3,187	8,625
無形固定資産	1,803	2,143
投資その他の資産	3,294	3,486
資産合計	51,153	51,382
(負債の部)		
流動負債	11,371	12,603
固定負債	557	694
負債合計	11,929	13,298
(純資産の部)		
株主資本	37,426	36,192
資本金	6,113	6,113
資本剰余金	6,190	6,190
利益剰余金	27,772	25,811
自己株式	△2,649	△1,922
その他の包括利益累計額	316	442
非支配株主持分	1,479	1,448
純資産合計	39,223	38,084
負債純資産合計	51,153	51,382

① 資産について

総資産は511億53百万円となりました。現金及び預金が62億61百万円、仕掛品が5億67百万円それぞれ増加いたしました。土地が42億81百万円、受取手形及び売掛金が10億21百万円、のれんが2億48百万円、固定資産のその他に含まれる建物及び構築物が12億43百万円、投資その他の資産のその他に含まれる投資有価証券が2億39百万円それぞれ減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ総資産が2億29百万円減少いたしました。

② 負債について

負債は119億29百万円となりました。賞与引当金が2億29百万円、流動負債のその他に含まれる未払消費税等が8億93百万円、流動負債のその他に含まれる未払金が1億29百万円、固定負債のその他に含まれる長期未払金が1億円それぞれ減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ負債が13億68百万円減少いたしました。

③ 純資産について

純資産は392億23百万円となりました。利益剰余金が剰余金の配当により8億23百万円、その他有価証券評価差額金が1億37百万円それぞれ減少し、自己株式が7億26百万円増加いたしました。利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により27億83百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ純資産が11億39百万円増加いたしました。

※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当連結会計年度より、「少数株主持分」を「非支配株主持分」としております。

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	2016年3月期 第2四半期(累計) (2015年4月1日~2015年9月30日)	2015年3月期 第2四半期(累計) (2014年4月1日~2014年9月30日)
売上高	40,181	35,137
売上原価	32,781	29,108
売上総利益	7,400	6,029
販売費及び一般管理費	3,625	3,359
営業利益	3,774	2,669
営業外収益	45	57
営業外費用	10	10
経常利益	3,809	2,716
特別利益	1,184	-
特別損失	567	129
税金等調整前四半期純利益	4,426	2,587
法人税等	1,591	1,047
四半期純利益	2,835	1,539
非支配株主に帰属する 四半期純利益	51	38
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,783	1,501

※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当連結会計年度より、「少数株主損益調整前四半期純利益」は「四半期純利益」に、「少数株主利益」は「非支配株主に帰属する四半期純利益」に、「四半期純利益」は「親会社株主に帰属する四半期純利益」としてあります。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	2016年3月期 第2四半期(累計) (2015年4月1日~2015年9月30日)	2015年3月期 第2四半期(累計) (2014年4月1日~2014年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	1,852	2,404
投資活動による キャッシュ・フロー	5,896	△1,514
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,600	△968
現金及び現金同等物に 係る換算差額	13	△6
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	6,161	△85
現金及び現金同等物の 期首残高	21,728	18,055
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	-	36
現金及び現金同等物の 四半期末残高	27,890	18,006

業績予想および配当予想

Earnings Forecasts and Dividends

2016年3月期連結業績予想				2016年3月期配当予想
売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	
77,000百万円 (前期比3.2%増)	6,700百万円 (前期比4.2%増)	6,750百万円 (前期比3.6%増)	4,550百万円 (前期比23.2%増)	中間期末(実績) 20円 期末 35円 年間 55円

※2015年5月12日に公表いたしました業績予想、配当予想に変更はございません。

【DTS WEST】 消防・防災システムへの取り組み



最先端のITシステムを駆使して 安心・安全な毎日を支え続ける

火災をはじめとする各種災害から、地域住民のかげがえのない生命や貴重な財産を守る消防活動。迅速で的確なその救助活動を背後で支えているのは、最新鋭のITシステムです。

DTSのグループ会社であるDTS WESTでは、創業から30年以上にわたって全国各地の消防・防災システムの開発を通して、安心・安全な暮らしに貢献しています。

一人でも多くの命を救うための速さと正確性への挑戦

日本における消防システムの始まりは、1970年代に遡ります。1972年に起きた大阪の千日デパート火災で多数の死者を出したことをきっかけに、大阪市消防局は防災体制の強化を図ろうと全国で初めて大規模な情報システム化に踏み切りました。そして、このシステム開発に携わった技術者が立ち上げた会社が株式会社総合システムサービス、現在のDTS WESTです。以来、30年以上にわたり、全国各地の消防局の消防・防災システムの開発に携わっています。

DTS WESTが消防システムを開発してきた中で、

一貫して目標としていることがあります。それは、「1秒への挑戦」です。119番通報の受付から消防署所への出動指令、消防隊の現場到着、これら一連の業務に要する時間を少しでも縮めることで、助けられる命があります。また、1分1秒を争う消防業務には、判断の元となる正確で適切な情報を消防隊員などに迅速に提供することも求められます。だからこそDTS WESTでは、常に最新のIT技術を取り入れながら、最前線で働く消防隊員の活動をサポートできるシステムの開発に注力しているのです。

〈DTS WESTの消防・防災システムが支えるスピーディーで的確な災害発生時の対応〉



119番通報
受付



災害場所の特定

消防地図を表示し、通報者からの住所、目標物などの情報を元に災害場所を特定



隊編成

出動車両の車種・台数を決定して災害現場に近い最適な隊を編成



出動命令

総合的に的確な指令を構成し、署所、車両に伝達



災害現場到着、
消火・救助活動

導入事例：京都市消防局 様



株式会社 DTS WEST
社会システム事業部
部長 近藤 紀子

古都の街並みを守り続ける 決意に寄り添いながら



株式会社 DTS WEST
社会システム事業部
担当課長 辻田 義之

DTS WESTでは全国各地の消防システムを手がけていますが、同じ京都に拠点を構える企業として、京都市消防局様とは20年以上のお付き合いになります。

私たちが開発を担う京都市消防局様の消防支援情報管理システムは、地図情報や車両情報などをデータベース化して災害発生時の指令や現場活動に必要な情報を提供するものです。また、このシステムでは消防設備や防火対象物・危険物情報、事故調査結果なども管理でき、災害予防という面でも大きな役割を果たしています。

歴史的な文化財を数多く有する京都市は、特に防災に対する意識が高いと感じます。防火指導のために各家庭を回り、市内を巡回して地図情報に変化がないか日々確認を怠らない消防隊員の方たちからは、京都を守ろうという気持ちが強く伝わってきます。その分、消防システムに寄せる期待は大きく、管理するデータ量は膨大でシステム構築への要求も高度になりますが、私

たちも京都の街並みと市民の皆様を守るために少しでも貢献できたらという思いで日々努力を続けています。

街の安心と安全を守る消防事業は、24時間365日の業務ですから、システムにトラブルが起きた場合も1日後、2日後といった対応では遅きに失します。そのため当社としても消防局様からの問い合わせには即座に対応できる体制を整えており、こうした点がお客様から長年にわたって高く評価されてきました。

当社では今後も、迅速で正確な消防活動をシステムの面から支援させていただきながら、お客様との確かな信頼関係を育んでまいります。



Topics.1 組込み関連事業を再編

アートシステム(株)は、2015年4月にDTSの組込み関連事業の一部を承継し、新生アートシステムとして新たなスタートを切りました。

当社グループは、金融・通信に続く第三の柱の創出に向けて組込み関連事業に注力しております。今回の再編では、DTSの組込み関連事業として培ってきた製

造業様向けの開発技術、ノウハウと、アートシステム(株)が育ててきた医療系の開発技術、ノウハウを連携、融合させることにより、周辺系ビジネスへの拡大など新たな領域へも取り組んでまいります。

Topics.2 IoTにおけるオープンデータ活用の実証実験を実施

DTSでは、IoTにおけるオープンデータ活用の研究を始めております。その一環として、気象庁が配信する1億項目以上の気象予報データを解析し、地図とグラフを組み合わせ、2km、5km四方のピンポイントで予報データを可視化するWebアプリを開発し、フィールドでの実証実験を行っております。

9月には、富士山を1周するトレイルランニングの国際大会「ウルトラトレイル・マウントフジ(UTMF)」に気象データサプライヤーとして協賛し、大会に特化したサービスを提供し、レースの計画立案や装備準備をサポートしました。今後も、気象分野に限らず、様々なオープンデータを活用したIoTの取り組みを進めてまいります。



Topics.3 DTSベトナムのBPOサービスを紹介

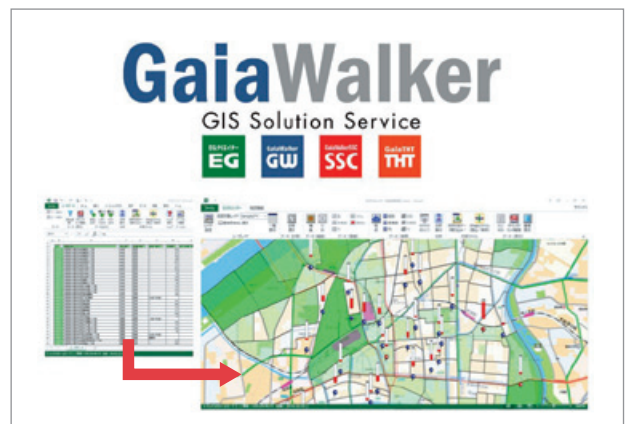
2014年4月に4番目の海外拠点として設立されたDTS SOFTWARE VIETNAM CO.,LTD. (DTSベトナム)では、ITシステムのオフショア開発のほか、手書きの建築設計図面をCADに入力する、図面製作BPO(ビジネスプロセスアウトソーシング)サービスを提供しております。

6月23日、24日に東京ビッグサイトで開催された「リフォーム産業フェア2015」では、当社の建築用3Dプレゼンテーションソフト「Walk in home」の出展に加え、DTSベトナムのBPOサービスを紹介しました。当日は、現地社員から、高品質かつ低コストなオフショアBPOサービスの優位性を来場者に直接説明し、注目を集めました。



Topics.4 地理情報ソリューションの新バージョンを発売

9月に、(株)DTS WESTは、地理情報システムのパッケージソフト「Gaia Walker」シリーズの新バージョンを発売開始しました。「Gaia Walker」は、デジタル地図上に、統計情報や顧客情報などのデータを統合して表示できるシステムで、企業の出店計画や施設管理をはじめ、自治体の都市計画や防災などに幅広く活用されております。今回は、「Gaia Walker」シリーズの一つ、エクセルデータ上で簡単に操作できる「EGクリエイター」の新バージョンを発売。全国11地域に分けたより詳細な地図に対応するなど、さらなる機能性・操作性の向上が図られました。



■ 株式の状況 (2015年9月30日現在)

発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式の総数	25,222,266株
株主数	7,030名

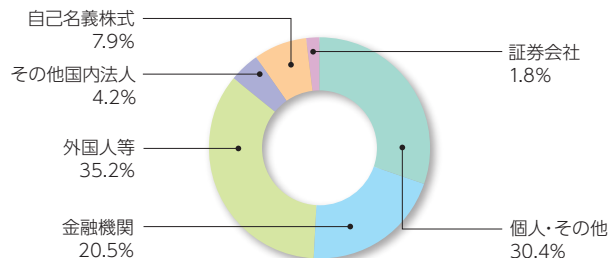
■ 大株主の状況

氏名または名称	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,631	7.03
DTSグループ社員持株会	1,593	6.86
笹貫 敏男	1,030	4.44
ゴールドマンサックスインターナショナル	698	3.01
メロンバンク エヌイー アズ エージェント フォー イッツ クライアント メロン オムニバス ユーエス ペンション	644	2.77
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	603	2.60
シー エム ビー エル, エス エー リ, ミューチャル ファンド	527	2.27
株式会社NTC	482	2.08
バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム クライアント アカウント イー ビーデー	460	1.98
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	446	1.92

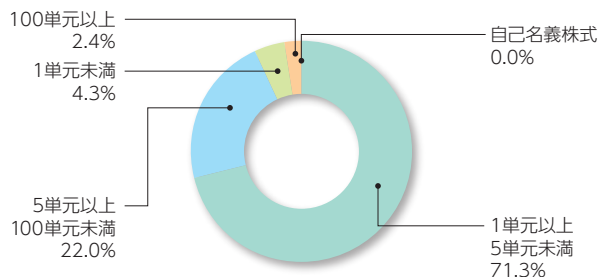
(注)当社は、自己株式1,997千株を保有しており、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■ 株式分布状況 (2015年9月30日現在)

● 所有者別株式数



● 所有数別株主数



■ ホームページのご案内

当社のホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報を開示しております。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひご利用ください。

また、当社の情報を迅速にお届けするため、IRニュースメールを配信し、ご好評をいただいております。登録は、当社ホームページからお願いいたします。ぜひご利用ください。

ホームページアドレス▶ <http://www.dts.co.jp/>

商号 株式会社DTS
DTS CORPORATION
設立年月日 1972年8月25日
資本金 6,113百万円 (2015年9月30日現在)
従業員数 連結：4,437名 単独：2,737名 (2015年9月30日現在)
本社 〒105-0004 東京都港区新橋6-19-13
(本社本館) TEL：03-3437-5488 (代表)

関係会社 (2015年9月30日現在)

株式会社九州DTS
データリンクス株式会社
日本SE株式会社
株式会社DTS WEST
株式会社MIRUCA
通天斯(上海)軟件技術有限公司
デジタルテクノロジー株式会社
株式会社DTSパレット
DTS America Corporation
DTS IT Solutions(Thailand)Co.,Ltd.
アートシステム株式会社
横河デジタルコンピュータ株式会社
DTS SOFTWARE VIETNAM CO.,LTD.

事業所

本社新館 東京都港区新橋6-12-4
本社別館 東京都港区新橋5-23-4
新橋センタ 東京都港区新橋5-32-8
芝開発センタ 東京都港区芝大門1-10-11
大門開発センタ 東京都港区芝大門1-2-13
中京支社 名古屋市中区栄2-9-26
関西支社 大阪市中央区安土町2-3-13
九州支社 福岡市博多区博多駅前2-19-24

役員 (2015年9月30日現在)

代表取締役社長	西田公一	
専務取締役	熊坂勝美	
常務取締役	伊東辰巳	
取締役	坂本孝雄	
	竹内実夫	
	横尾勇夫	
社外取締役	萩原忠幸	
	鈴木滋彦	
	坂田俊一	
	平田正之	
常勤監査役	村井一之	
社外監査役	嵯峨清喜	
	服部彰道	
	谷口和	
執行役員	綱島恵二	赤松謙一郎
	安達継巳	齋藤健一
	小林浩利	込山慎一
	廣川利規	大久保茂雄
	豊永智規	中村裕
	浅見伊佐夫	





株式会社 **DTS**
<http://www.dts.co.jp/>

株 主 メ モ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月下旬
定時株主総会の基準日 3月31日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店
および全国各支店で行っております。

お知らせ

- 住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 「配当金計算書」について
配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
※確定申告をなさる株主様は、大切に保管ください。

